

市民と議会をつなぐ

市議会だより

3月定例会
No.164
2024.5.13

SHINJO SHIGIKAI DAYORI

市内に
お住まいの、
三世代のご家族
(四世代)
シリーズ!!

昭和、平成、令和へと!
みんな笑顔で、「ハイ」ポーズ!



3月定例会の議案等	P2~3
令和6年度予算の可決	P4~6
一般質問	P7~14
令和5年度政務活動費の報告	P14
議会報告会のお知らせ・研修報告	P15

上金沢町在住の小野さんご一家です。
新しい家族も増えて、元気で明るく楽しい
毎日です。



←新庄市議会
HPはコチラ

1月臨時会

1月24日の臨時会では、一般会計補正予算1件、議案2件を原案のとおり可決し閉会しました。

審議された議案

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
議案	第1号	令和5年度新庄市一般会計補正予算(第6号)	可決
	第2号	新庄市手数料条例の一部を改正する条例について	可決
	第3号	新庄市土地開発公社の解散について	可決

3月定例会

令和6年3月定例会では、初日、報告1件を了承し、令和5年度補正予算6件を原案のとおり可決しました。

最終日には、令和6年度予算6件、議案9件を原案のとおり可決しました。また、追加提案された人事案件2件に同意し、議案1件を原案のとおり可決しました。

審議された議案等

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
報告	第1号	損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	了承
議案	第4号	令和5年度新庄市一般会計補正予算(第7号)	可決
	第5号	令和5年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
	第6号	令和5年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決
	第7号	令和5年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決
	第8号	令和5年度新庄市水道事業会計補正予算(第4号)	可決
	第9号	令和5年度新庄市下水道事業会計補正予算(第5号)	可決
	第10号	令和6年度新庄市一般会計予算	可決
	第11号	令和6年度新庄市国民健康保険事業特別会計予算	可決
	第12号	令和6年度新庄市介護保険事業特別会計予算	可決
	第13号	令和6年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
	第14号	令和6年度新庄市水道事業会計予算	可決
	第15号	令和6年度新庄市下水道事業会計予算	可決
	第16号	新庄市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	第17号	新庄市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	第18号	新庄市消防団条例の一部を改正する条例について	可決
	第19号	新庄市介護保険条例の一部を改正する条例について	可決
	第20号	新庄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	可決
	第21号	新庄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	第22号	新庄市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	可決
	第23号	新庄市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例について	可決
	第24号	新庄市水道給水条例の一部を改正する条例について	可決
	第25号	新庄市教育委員会教育長の任命について	同意
	第26号	新庄市監査委員の選任について	同意
	第27号	新庄市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	可決

議案に対する議員の賛否

賛否の分かれた議案等をお知らせします。 ○ → 賛成 ● → 反対

議案等番号	会派名	新政・結の会										共に創る市民の会		勁草21		会派に属さない議員			採決結果	
		小嶋 富弥	小野 周一	高橋 富美子	佐藤 卓也	山科 正仁	山科 春美	渡部 正七	鈴木 法学	辺見 孝太	鈴木 啓太	坂本 健太郎	田中 功	伊藤 健一	八鍬 長一	新田 道尋	佐藤 悦子	亀井 博人		今田 浩徳
議案第10号	令和6年度新庄市一般会計予算	○	○	○	—	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案第13号	令和6年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	—	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案第17号	新庄市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	—	○	○	○	欠席	○	○	○	○	棄権	○	○	●	○	○	可決
請願第1号	生活保護基準の引上げ及び物価高騰に見合う増額に関する請願	●	●	●	—	●	●	●	欠席	●	●	●	棄権	●	●	●	○	●	●	不採択

※議長は採決に参加しません。

請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	結果
生活保護基準の引上げ及び物価高騰に見合う増額に関する請願	沼澤栄代子	佐藤 悦子	不採択
除雪受託業者に対する支援について	新庄市建設クラブ 会長 永井 敏行	小嶋 富弥 小野 周一	採 択
健康保険証を廃止せず存続を求める国への意見書採択を求める請願書	山形県社会保障推進協議会 会長 高木 紘一	佐藤 悦子 坂本健太郎	継続審査 (※)

※継続審査とは、会期中に結論が出なかった場合に、議会の議決によって閉会中や次の定例会でも引き続き審査を行っていくことをいいます。

人事案件

3月15日に同意された人事案件2件をご紹介します。

新庄市教育委員会教育長
(令和6年4月1日から)
津田 浩 氏

新庄市監査委員
(令和6年4月1日から)
須田 泰博 氏

選挙管理委員会委員及び補充員の選挙で当選された委員
(令和6年3月22日から)
3月1日に選挙管理委員会の選挙により選出された委員及び補充員をご紹介します。

■委員
五十嵐 キヨ子 氏
佐藤 利美 氏
高橋 裕子 氏
武田 清治 氏

■補充員
小野 茂雄 氏
島腹 銀蔵 氏
田宮 幹子 氏
五十嵐 美千子 氏

※補充員は補充順位順に掲載しています。

会派の異動

令和6年4月1日付で今田浩徳議員が無会派から共に創る市民の会に異動しました。

各常任委員会の報告

総務文教常任委員会の主な質疑

●議案第16号

新庄市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

Q 職制の変更による給与表・金額への影響はあるのか。
A 給与表における金額の変更はなく、表に記載されている職名の変更である。

●議案第17号

新庄市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について

Q 個人番号の情報連携によって、個人情報漏洩することはないのか。
A 市ではもちろん、国においてもセキュリティ対策を行っている。また、事務に携わる人は個人情報保護する責務を持って仕事をしているため、情報漏洩はないものと考えている。

産業厚生常任委員会の主な質疑

●請願第1号

生活保護基準の引き上げ及び物価高騰に見合う増額に関する請願

Q 物価高騰が扶助基準額の算定に影響するののか。
A 扶助基準額は、5年に一度見直しされている。物価高騰を踏まえ、令和5年10月より世帯人数1人あたり1000円加算されている。これは令和5年度と令和6年度に限られるが、今後の物価高騰の状況により変動する可能性もあると考えている。

●請願第2号

除雪受託業者に対する支援について

【主な意見】

・今年少雪によって、建設会社の方は給与面で大変な思いをしていると思う。新庄市は雪と切り離すことのできない地域であるため、要望を受け入れ、請願を採択していただきたい。



11日



12日



13日

一般会計予算

円を可決

(山科春美委員長) で令和6年3月11~13日の3日間審査。



かむてん© 新庄市 × 富樫義博

審議された議案

議員の賛否

請願の結果

人事案件

予算特別委員会

一般質問

政務活動費

議会報告のお知らせ

議員研修報告

一般会計

〔歳入〕

地方交付税

Q. 地方交付税算定の基礎は、人口とされている。人口減少の中、予算額が増加しているが、算定の仕組みはどうなっているか。

A. 算定基礎となる基準財政需要額が伸びていること、国の地方財政計画において地方交付税を前年よりも1・7%増の18・7兆円確保すると示されたことから、このような予算となった。

〔歳出〕

男性職員の育児休業取得促進研修業務委託料

Q. 男性職員の育児休業取得促進研修業務委託料について、詳細を伺う。

A. まずは男性職員の育児休業に対する職場の理解が必要と考え、主に課長級、室長級を対象に、育児休業の制度や必要性を学び、理解を促進するための研修の実施を考えている。

庁舎建設基金積立金

Q. 庁舎建設計画について伺う。
A. 庁舎の建て替え時期については、築80年が経過する令和17年頃と考えている。

移住・定住施策

Q. 移住定住の施策は多いが、目標値はあるのか。移住事業だけではなく、様々な事業との横断的な対応、連携が必要ではないか。

A. 移住の住宅支援の補助金等を中心に取り組んでいるが、目標人数の設定は行っていない。

公式LINEアカウント機能拡張業務委託料

Q. セグメント配信はどのような属性で、どのような情報の配信を想定しているか。また、拡張機能「チャットボット」では何ができるのか。

A. セグメント配信については、年代、居住エリアの設定に加え、町内会など、より細かい設定が可能となる。また、チャットボット機能については、質問に応じて返答してくれる機能であるが、導入については今後検討したい。

広報事業費

Q. 市広報物やホームページ等において、ユニバーサルデザインや字体の選定など、障がい者に配慮しているのか。

A. 広報誌やホームページについては、研修等を踏まえ、ユニバーサルデザインに配慮するように努めて作成している。

特定空き家解体業務委託料

Q. 本市で認定している特定空き家は何件あるか。

A. 新庄市で特定空き家に認定した件数はない。

まちなか循環線

Q. 東北農林専門職大学開学に伴うバスの増便に関し、事業者名と運行経路、時間帯などの準備状況について伺う。

A. 山交バス株式会社協力のもと、鳥越線を運行する。市内から鳥越方面に行く便については2便を5便に増やし、鳥越方面から市内に来る便については1便から6便に増やし、4月1日より運行を開始する予定である。



過去最高額

195億

全会計予算総計 304億8,198万円。予算特別委員会

AEDの管理状況

Q. AED設置課、施設、台数、利用件数と更新等管理はどのようになっているのか。

A. 所管課は総務課、環境課、健康課、農林課、教育総務課、社会教育課、上下水道課であり、計32施設、42台を設置している。使用の有無については、日新中学校で使用したことがある。更新時期には新たに契約を行い、管理している。

お試しU-Jターン旅費支援事業費補助金

Q. お試しU-Jターン旅費支援事業費補助金の詳細を伺う。

A. 看護師の資格を有する県外在住者を対象に、新庄市内の医療機関や高齢者介護施設等でインターン就業体験を希望する方に対し、交通費、宿泊費の助成を行うものである。金額は、3万8400円を上限とし、県と市が2分の1ずつ負担する。

健康増進事業費

Q. がん検診の受診率が低下している。要精密検査となった人が初回に受診する精密検査の費用の助

成について伺う。

A. がん検診については段階的に自己負担額の引下げを実施しているところだが、要精密検査となった方については、確実に医療機関の受診につなげたいと考えているため、今後検討していきたいと考えている。

6次産業化推進事業費

Q. 6次産業化の充実のため、い[※]にや風土の商品数増をはじめ、育成・強化を図り、6次産業化の充実をさらに進めるべきではないか。

A. 令和6年度は、これまで行ってきた新商品の開発、販路開拓事業から、新たな実践者の発掘にシフトするほか、農業者と製造業者のマッチングにも力を入れたいと考えている。作業を担う方の高齢化も進んでいることから、製造から販売までを担える事業主体の育成も強化したい。

準学生寮供給促進事業費補助金

Q. 準学生寮供給促進事業費補助金2000万円の内容を伺う。

A. 改修される建物の形式により補助金額が異なるが、シェアハウス形式については一戸あたり20

0万円を上限とし、200万円×10名分で2000万円を予算計上している。

常備消防費

Q. 新消防庁舎の事業費は、資材高騰などにより8億300万円増額となる。増額に伴う本市の分担金への影響について伺う。

A. 起債や積立金を活用するため、新庄市の分担金の影響額は3000万円程度となる見込みである。

学校給食費補助金

Q. 現在の第1子の給食1食あたりの補助額はいくらか。また、学校給食費の無償化を行うには、いくらかかるか。

A. 第1子の補助額は、小学生で1食15円、中学生で1食20円となっている。また、小中義務教育学校の児童生徒の給食費全額無償化には、1億6500万円程度と試算している。

新庄開府400年記念事業実行委員会負担金

Q. 新庄開府400年記念事業実行委員会負担金について、具体的にどのような事業を実施するのか伺う。

審議された議案

議員の賛否

請願の結果

人事案件

予算特別委員会

一般質問

政務活動費

議会報告会のお知らせ

議員研修報告

※いいにや風土…新庄市固有の農産物や食文化をパッケージした「雪国しんじょう」を物語る農産物加工商品のブランド。

A. 教育部門では、ふるさと学習の支援、親子ふると歴史探訪、お菓子類の開発、まちづくりシンポジウム等を検討している。観光部門では、歴史文化ゾーンを巡るスタンプラリーの実施、ロゴフラッグの設置のほか、松竹の特別歌舞伎公演の開催等を検討している。

Q. 今村翔吾氏とどのように連携し、プレ事業を実施していくのか。

A. 今村先生は様々な分野で活躍されており、市としても先生とのつながりを保ちながら、開府400年を盛大に開催し、全国に名前が知られるような市になるよう取り組みたい。

図書館管理運営事業費

Q. 図書館には未だに5基の和式トイレが設置されている。高齢者や児童生徒が利用しやすいよう、洋式トイレへの改修の考えについて伺う。

A. 生涯学習施設の中では最も要望の多いところであるため、優先的に考えていきたい。

新庄城二の丸跡出土遺物整理等業務委託料

Q. 出土品の整理後による取扱いと、この作業による中部保育所建

設事業への影響を伺う。

A. 出土品は整理ができたものから公開したいと考えている。また、中部保育所建設事業への影響はないと聞いている。

新庄リレーマラソン大会実行委員会負担金

Q. 昨年、参加25チーム中9チームが記録なしとなった。今年はどうか。

A. 今後の課題と捉えている。今年度はこの点を改善し、大会を盛り上げていきたいと考えている。

公債費

Q. 明倫学園の建設に係る借入額、借入期間、利率はどうなっているか。

A. 明倫学園建設事業費全体では、64億円のうち46億円に起債を充てている。借入れは平成30年から開始しており、利率や償還期間は借入れの年度によって異なるが、利率は0・3%から1・3%、償還期間はおおむね25年である。

時間外勤務手当

Q. 職員数が類似団体と比べて100人も少ない。時間外勤務手当をなくし、正採用を増やす方が、

生産性が上がり、効率化するのではないか。

A. 時間外勤務を減らすために職員数を増やす方法もあるが、業務の見直しや効率化という手法もある。検討しながら改善を図りたい。

介護保険事業特別会計

保険料（滞納繰越分）

Q. 介護保険料の未納者数は。その中で、利用料3割になってしまふと利用できなくなるのではないか。

A. 滞納者は令和5年5月31日時点で113名である。保険料を払うのが難しい方がいらつしやつた場合、可能な限り対応していききたい。ため、早めに相談していただきたい。

認定調査業務委託料

Q. 認定調査業務委託料について、詳細を伺う。

A. 認定調査委託費の単価は、在宅で1件3000円、施設で1件2000円である。単価は各自治体で設定できるため、今後物価の上昇を加味しなければならぬ状況が来たら、その都度検討してい

きたい。

水道事業会計

漏水調査

Q. 漏水確認を人工衛星でしている市町村もあるようだが、市ではどのように実施しているのか。

A. 毎年、漏水の調査を専門業者に委託している。

漏水音を聞きながら確認する音聴調査や流量計を設置して夜間の水の動きを確認する方法により実施している。

Q. 新庄市の水道管の基幹管路のうち66%は耐震化済であるとのことだが、来年度は新たに水道管の耐震化を実施する予定はあるか。

A. 基幹管路の耐震化の予定はないが、第二次拡張事業の際に実施した周辺の老朽箇所や施設の電気計装設備などに費用を投じていく予定である。

基幹管路の耐震化については、今後計画的に進めていく。



一般質問

一般質問は、3月4日、5日、6日の3日間、13名の議員が行いました。
 質問の項目及び要旨は、質問者の通告原稿に基づき掲載しています。
 ※掲載している文章は、抜粋し、要約したものです。詳しくは各議員のQRコードから動画をご覧ください。

3月定例会一般質問の質問者と質問事項

渡部 正七

1. 都市公園について
2. 持続可能な地域行事について
3. 地域公共交通の充実・地域の実情に合わせた移動手段の提供について
4. スポーツに親しむことができる環境づくりについて

田中 功

1. 少雪による公共事業の前倒しについて
2. 農業関係について
3. 人口減少問題について

坂本健太郎

1. 環境保全と環境意識について
2. 地域おこし協力隊制度の活用と定住について
3. 若者のまちづくり活動への参画について

伊藤 健一

1. 大規模な地震や豪雨、台風などの災害時に備えた避難所の設定や対応策、準備状況について
2. 地元のコミュニティラジオ放送局と協力し、有効に情報発信をするための方策について
3. 地域循環型生ゴミ収集事業終了に伴う総括と、SDGsの観点から見た現代の環境に配慮する今後の取組みについて

山科 正仁

1. 新たなまちづくり事業の方向性について
2. 体育施設の管理・運営について
3. 子供の将来をつくる進路指導について

小嶋 富弥

1. 市の地域防災計画について
2. 行政サービスの向上について
3. 市の街並み景観とまちづくりについて

山科 春美

1. 北辰多目的運動広場の設置について
2. スマート農業の今後の方向性について
3. 行政評価について

ねえ、かむてんおしえて!

一般質問って何?



一般質問とは、議員が市政全般のことについて、執行部に質問することじゃ。



かむてん© 新庄市 × 電燈義博

鈴木 啓太

1. ふるさと納税について
2. 放課後児童クラブについて
3. 部活動の地域移行について

辺見 孝太

1. 地域防災について
2. ふるさと納税について
3. 新庄まつり振興事業について

亀井 博人

1. 新庄の魅力を支える力
2. 生活道路について
3. 子ども食堂について
4. 投票環境について

佐藤 悦子

1. 生活を守る砦として、生活保護費の引き上げを
2. 子どもの学び、育つ権利を保障して
3. 子どもの育つ権利を守るために教職員の長時間労働に歯止めを。市独自にできることは何か。
4. 加齢に伴う難聴への支援は、介護予防として重要
5. 自衛隊への個人情報の提供はやめるべき
6. 消防職員を増やし、防火水槽の整備を

高橋 富美子

1. 高齢者の活躍推進について
2. 認知症対策について
3. 防災対策について

小野 周一

1. 公約について
2. 政策提言について

快適な暮らしを支えるまちづくり



わたなべ しょうしち 議員
渡部 正七

◎都市公園の役割には、「子どもからお年寄りまでの幅広い年齢の自然とのふれあい、レクリエーション活動、健康運動、文化活動など多様な活動の拠点」があるが、本市の都市公園はこの役割を果たしているのか伺う。

市長 本市における都市公園の現状は、都市公園18か所をはじめ、工業団地等の緩衝地帯や宅地開発上必要となる緑地、県から管理委託を受けている河川公園など、約60か所が市内に点在しています。都市公園の役割については、日常的に市民の皆様が利用する各町内の公園や緑地、年間を通じて多くの観光客が訪れる最上公園、球場や陸上競技場などスポーツ施設としての性格を有する東山公園など、場所や利用目的に応じ、幅広い年齢の皆様にご利用いただいております。また、これらの公園・緑地は、自然とのふれあいやレクリエーション活動の

場、災害時の避難場所など、多様な機能を有し、本市のまちづくりにおいて重要な施設であると捉えています。

◎交通弱者が増える中、地域公共交通の充実・地域の実情に合わせた移動手段の提供を今後どのように取り組んでいくのか伺う。

市長 昨年度、市内の2つのエリアでデマンド型乗合タクシーの実証運行事業を実施しましたが、実証運行の結果、運転手不足等の課題により、デマンドタクシー事業の本格実施は難しいと判断し、昨年度末をもって実証運行事業を終了したところであります。

今後、地域の交通弱者が増加していくことが見込まれる中、公共交通空白地域における新たな移動手段の提供は重要な課題であると捉えています。

移動手段の確保対策について、運行形態や料金設定、デジタル技術の活用など先進事例の調査研究を行うとともに、ライドシェアなど国が進める新たな制度の動向も注視しながら、地域の実情に合わせた地域公共交通サービスの在り方を検討していきます。



まちなか循環バスかむてん号



新庄市の人口減少対策を！

新庄・最上市町村別将来推計人口 (厚生労働省国立社会保障・人口問題研究所による)

	総人口(人)			2022年を100とした指数	
	基準年(2022)10月	12年後(2035年)	27年後(2050年)	12年後(2035年)	27年後(2050年)
新庄市	33,081	26,320	19,662	79.6	59.4
最上町	7,593	5,769	3,830	76.0	50.4
真室川町	6,803	4,949	3,176	72.7	46.7
金山町	4,806	3,569	2,317	74.3	48.2
角形町	4,764	3,593	2,436	75.4	51.1
戸沢村	3,926	2,917	1,848	74.3	47.1
鮭川村	3,749	2,756	1,776	73.5	47.4
大蔵村	2,870	2,083	1,346	72.6	46.9
新庄・最上郡計	67,592	51,956	36,391	76.9	53.8

新庄・最上の人口の推移

◎インターチェンジ付近の道の駅を最上8市町村と実施に向けた協議を早期に始め、交流人口の創出に繋げは如何か。

市長 人口減少社会を迎える中で、交流人口や関係人口の確保・拡大が非常に重要であると考えています。本市を取り巻く高速交通網の整備は、近年、確実な進展を見せており、一昨年には東北中央自動車道の

村山地区の開通により、新庄・最上地域と首都圏が高速ネットワークで直結しました。アフターコロナを迎え、今後、産業や観光において、人流や物流がさらに活発になることが期待されることから、道の駅の整備は、新庄・最上地域のゲートウェイとして大きな役割を果たすものと認識しています。

この道の駅が、本地域に大きな波及効果をもたらすものとなるよう、最上8市町村としての考え方を整理し、民間企業や経済団体、地域の方々の役割分担などについて関係機関との調整を行いながら、道の駅検討会での協議を早期に再開できるように、引き続き取り組んでいきます。

◎今年の少雪で、除雪業を行っている建設業者や従業員が困っている。公共事業の早期発注や前倒しが出れないか伺います。

市長 新年度予算分は国の補助事業や起債事業の関係で前倒しすることはできませんが、昨年12月に国補正による追加配分をいただいた道路事業と雪害事業については、繰越の承認を経て1月に工事を発注しています。また、令和5年度予算においても、道路維持に関する舗装補修及び区画線設置については、例年は雪解けを待っての発注としましたが、今年度はすでに発注しており、現在作業箇所の調査に着手しているところです。

本市の新年度予算においても、可能な限り4月早々の発注に向けて準備を進めていますので、ご理解をお願いいたします。



たなか いさお
田中 功 議員



今こそ、環境保全都市の誇りを！

◎地域循環型生ごみ収集事業を活用した環境学習等、環境保全への意識醸成をどのように図ってきたのか。

市長 この事業を通じて、各家庭などから出された生ごみが肥料として再資源化できること、地域内で活用することにより循環型社会形成の一翼を担っていることを、利用いただいている町内会、学校において環境学習を行ったことで、環境保全に対する意識醸成が図られたものと捉えています。

◎かつてあったNPO主催の「かなす養成講座」など、青年層が活躍できる、チャレンジできる研修や事業、それらの環境整備について、未来を担う青年層を育てる仕組みについてどう考えるか。

教育長 若者のまちづくり活動への参画を進めるためには、地域活動に取り組む団体へのサポートと、地域活動に取り組もうとする主体性のある人材を育てていくことが重要であると考えています。

市民活動交流ひろば「ぶらっと」では、市民活動や社会貢献活動を行っている団体や個人に対し、活動に関する相談や情報収集、事務的な作業のサポートなど、多様な支援を行っています。

また、市の青少年ボランティア事業では、中学生や青年層を対象とした「しずく」「しずくR」「しずくジュニア」などのボランティアサークルを支援し、サークル活動を通して学生から大人までの人材育成を行い、将来の青年層のリーダーや市の未来を担う人材を育成していくことを目標としています。

しかし、青年向けの講座の実施やサークル活動がなかなか定着しないことも課題です。行政だけでなく、地域で活躍している様々な団体と協力しながら、若者がいるんなことにチャレンジできる環境整備を行っていききたいと考えています。



さかもと けんたろう 議員
坂本 健太郎



南陽市青年教育推進事業から



大規模災害時の避難所設置体制について

◎大規模な災害が多発・激甚化することが多くなった昨今において、避難所の設定や対応策、市民への周知方法などの準備状況について伺います。

市長 避難所については、災害の状況を踏まえながら、避難所運営マニュアルに基づき、開設から運営までを行うこととしています。

1次避難については、指定避難所27か所を状況に応じて開設し、避難誘導を行っています。避難の長期化などにより、生活環境が整った宿泊施設への2次避難が必要となった場合には、市内のホテルや、山形県市町村広域相互応援に関する協定や友好自治体による相互応援協定に基づき、

各市町村に要請するとともに、県や国への要請も併せて行い、避難場所の確保



いとう けんいち 議員
伊藤 健一

に努めていきます。また、市民への日頃からの周知方法については、市ホームページを始め、市報、SNS、ハザードマップでの周知のほか、各町内会や自主防災組織への出前講座などを行い、啓発活動に積極的に取り組んでいきます。

◎地元コミュニティラジオ局と災害時の協定を結んでいます。日常でも地元情報を発信している同局と協力し、有効に情報発信すべきと考えますが市の考えを伺います。

市長 本市と「新庄コミュニティ放送株式会社」は、令和3年に災害時における災害情報等の放送に関する協定を締結しており、これまでも地震や豪雨の際に、地域に必要な災害情報を放送していただいています。

本市では現在、新聞社やテレビ局宛てに直接メールをお送りして様々な行政情報の提供を行っています。地元コミュニティラジオ放送局に対しても、同じタイミングで行政情報を提供しており、マスコミ各社において、提供した行政情報に基づき、随時、本市の行政情報を発信していただいています。現在のところ、メディアの種類を問わず、特定の媒体と本市が、共に番組や紙面を企画しているような取組みは実施していませんが、今後については、個別の事案ごとに必要に応じて検討していきます。



指定避難所「わくわく新庄」

進むべき市政の再確認を

質問動画は
こちらから



やましな まさひと 議員
山科正仁 議員

◎「新たな視点によるまちづくりのポイント」として掲げている、東北農林専門職大学及び県立新庄病院と連携することにより期待される効果を伺う。

市長 本年4月に東北農林専門職大学が開学しますが、大学との産学官連携による新たな農業ビジネスや農業の担い手の育成が期待されるほか、若者の居住によるまちなかの賑わい創出など、まちづくりのチャンスが到来したものと考えています。

また、県立新庄病院で実施している夜間休日診療や在宅医療・介護連携拠点において、同病院が有する高度な医療資源との連携が強化されることで、



屋内体育施設の使用状況

地域の安心安全な医療・介護体制の充実が図られると考えています。

◎武道館や体育館等の屋内体育施設の利用者の要望にどのように対応しているのか。また、近隣自治体との設備の整備状況の違いについて、どのように把握しているかを伺う。

教育長 各自治体との違いについては特に把握等は行っていないが、当市の体育施設の利用状況や要望、各競技種目の規則変更、利用者の安全確保に必要なものについて、随時対応しています。

質問動画は
こちらから



遅れていませんか 新庄市のデジタル化



おじま とみや 富 弥 議員
小嶋富弥 議員



市民課窓口

◎市民の利便性向上のため、DX化を推進し、身近な市民課窓口における諸手続きを記載台で書かないで行うことができる「書かない窓口」の設置をしようか。

市長 「書かない窓口」の設置について、市では、デジタル化推進基本計画アクションプランにおいて、かんたん窓口サービス事業の推進を掲げており、現

在、情報収集や課題等の洗い出しを行いながら、来庁された方々が、より快適に利用できるようなサービスの導入に向けて検討を行っているところです。引き続き、市民の利便性向上と職員の業務負担軽減につながる「書かない窓口」の設置について検討していきます。

◎死去に伴う手続きが多岐にわたるため、家族・親族の負担が大きい。諸手続きを市の窓口でワンストップで可能な「お悔み窓口」を設置する考えはないか。

市長 「お悔み窓口」の設置については、市民の皆様が効率的に必要な手続きを行うことができるよう、ご案内の方法や対応に係る職員体制などを考慮したうえで、今後の導入について検討していきます。



※DX（デジタルトランスフォーメーション）…デジタル化によってよりよい社会を目指すこと。

審議された議案

議員の賛否

請願の結果

人事案件

予算特別委員会

一般質問

政務活動費

議会報告会のお知らせ

議員研修報告



未来のために必要な投資を！

◎旧北辰小学校の解体が今年度行われませんが、その後の跡地利用として北辰多目的運動広場として芝生化事業なども提案されていますが、その後の進捗状況を伺います。

教育長 旧北辰小学校解体後の同用地の活用については、社会資本整備総合交付金やスポーツ振興くじ助成金を活用しながら、多目的に利用可能な全面芝生化の運動広場の設置を検討していました。

しかし、全面芝生化の運動広場とする場合は、整備費用として、交付金や助成金を活用しても市の負担する部分が大きく、また芝生を管理していくための経常的な経費も発生するため、広



スポーツを通して健康寿命増進を



山科春美 議員

場的な活用という内容に変更はありませんが、整備内容については、再度検討しているところです。

今後も検討を重ね、市民が様々な活動を行える交流活動の場としての整備を進めていきます。

◎農業の効率化や生産性の向上のために、トラクターの自動運転の際に必要なとされる固定基地局の整備を、市としてどのように考えているかお伺いします。

市長 スマート農業の今後の方向性について、現在策定を進めている「地域計画」の中でも、地域農業の在り方について検討しているところですが、地域の担い手への農地の集積を目指していくうえで、農作業の効率化を図ることが必要となってきています。

国においては、スマート農業による作業の効率化の普及に力を入れており、中でもトラクターや田植機などの農業機械の自動運転を進めていく考えであるため、本市としても、引き続き県及び関係機関と連携しながら、基地局の整備に向けた検討を進めていきます。



休日の部活動はどう変わるか



鈴木啓太 議員

◎令和6年度から休日の部活動が地域クラブに移行しますが、移行後の部活動はどう変わるか伺います。

教育長 地域クラブ移行後の部活動については、令和6年度からは原則として休日の部活動を行わず、受け皿となる地域クラブでの活動を行うこととなります。平日についてはこれまでどおり部活動を行い、休日の地域クラブについては任意加入となりますが、部活動と違う活動を行うことも可能となります。生徒の選択肢を増やし、スポーツや文化など様々な地域クラブで活動できる環境づくりを進めていきます。

◎市立学童保育所の利用希望者と受入者数、受入できなかったとの対応策について伺います。

市長 公立の放課後児童クラブ4所における入所定員は全体で230名となっています。例年11月頃に翌年度の申し込みを受け付けており、入所の申し込みにつ

いては、令和4年度は申込者数255人にに対し入所決定者数は227人、受入れできなかった人数は28人、令和5年度は申込者数245人にに対し入所決定者数は225人、受入れできなかった人数は20人となっています。令和6年度は、申込者数260人に対し入所決定者数は232人、受入れできなかった人数は28人となっています。

公立の放課後児童クラブを利用できなかった方への対応については、民間立の放課後児童クラブの紹介を行うとともに、公立での待機を希望される方には、入所の辞退や退所により受入可能となった段階で入所のご案内をしています。これまで市では、放課後児童クラブの利用ニーズに対応するため、定員数を増やしたり、特別な配慮が必要な子どもたちの増加に対応するため、放課後児童支援員の数を増やすなどしてきましたが、今後さらに利用希望が増加することもあるため、児童の受入れ拡充について、運営委託先の社会福祉協議会や民間立放課後児童クラブなど関係機関と連携を図りながら対応を検討していきます。



地域クラブ

ふるさと納税自動販売機の設置を



質問動画はこちらから



へんみこうた 辺見孝太 議員



ふるさと納税自動販売機

◎新庄を訪れた人が新庄の魅力に感じた時にその場で寄附をして返礼品を受け取れる「ふるさと納税自動販売機」を新庄まつりの開催に向けて、設置できないかお伺いします。

市長 ふるさと納税自動販売機は、現地に訪れた人がその土地の魅力に共感し、その場で寄附をして返礼品を受け取れるという仕組みで、PayPay商品券と同様の現地決済型の仕組みです。本市においても最大の集客期である新庄まつりの開催に合わせて設置するなど、効果的な設置場所や費用対効果を検証しながら、導入の可能性について、今後研究していきます。

また、ゴルフ場へのふるさと納税自動販売機設置については、市外から来ていただいた際に、そこに自動販売機があると、ふるさと納税をしてすぐプレーをしていただけるため、非常に有効に活用できると思います。自動販売機の設置費用の問題を解消できれば、寄附していただける方が増えると感じたため、今後検討していきます。

◎新庄まつりで新庄を訪れる、観光以上定住未済と言われる関係人口の方々に、ふるさと納税自動販売機を通じて、しっかりと支援をお願いする仕組みを持ってないか、お伺いします。

市長 関係人口を中心として、新庄に愛着をもって寄附していただける方を増やす施策は、取り組む余地があると認識していますので、ふるさと納税自動販売機をまつりの期間だけリースできないかなど、調査する価値があると考えています。

しかし、ふるさと納税自動販売機の導入経費も含めて、返礼品の経費率を5割以内に収めなければならぬという問題もあり、寄附収入により設置費用を回収できなければ導入する意味がありません。

道の駅にふるさと納税自動販売機を設置している自治体については、交流人口が相当数あり、自動販売の利用も多く、費用を回収できると考えられるため、今後、実現の可能性について検証していきます。

審議された議案

議員の賛否

請願の結果

人事案件

予算特別委員会



質問動画はこちらから

生活道路について



かめいひろと 亀井博人 議員

◎同じ市内でありながら、市道などの公道と生活道路等があります。

生活道路の場合、下水道工事、除雪、道路の舗装等について、市道と比べ違いはありますか。

市長 生活道路はあくまでも個人や法人等の所有となるため、権利や維持管理の責任は所有者に発生することとなります。そのため、下水道工事などの場合、市道では道路占用許可などの手続きをとることで工事が実施できますが、生活道路に関しては、所有者から埋設に関する同意をとることなどに時間を要する場合があります。

また、除雪や舗装を行う場合においても、市道は、道路管理者である市が行いますが、生活道路については、道路の所有者または沿線利用者が実施することが原則となっています。この生活道路の除雪に関しては、条

件を満たせば、市道除雪と同様に市が実施することが可能となり、また、舗装については、市の補助金を活用した道路補修などが実施可能です。

◎市内には子ども食堂が3か所ありますが、子育て支援の一つとして、子ども食堂を運営する団体等が連携できるような組織作りや補助制度を検討し、応援してはどうか。

市長 団体間の情報共有を行い、地域の現状や活動における課題等を共有し、解決に向けた取組みを進めるための、行政とのネットワーク体制の整備は必要であると認識しています。子ども食堂を通じ、気になる子どもなどの情報を市へつないでいただくなど、連携して要支援児童などの把握を行うことで、様々な支援につなげていくことができるものと考えています。

今後も、子ども食堂の活動を応援してくださる企業や市民の方が増えるよう、市としての広報周知活動や、各種補助制度の活用に向けた取組みを検討していきます。



生活道路

一般質問

政務活動費

議会報告会のお知らせ

議員研修報告



子どもの育つ権利を守るために

◎教職員の長時間労働に歯止めをかけるために、抜本的な教職員定数増を国に強力に要望すべきではないか。市独自にできることは何か。

教育長 近年、学校を取り巻く環境は厳しさを増しており、学校に求められる役割も以前と比べて拡大・多様化しています。授業の準備や打ち合わせのほか、保護者への対応などで勤務時間も長くなっている状況です。

教員一人一人が児童生徒に向き合い、充実した教育活動を展開することができるよう、教員定数の増については、これまで県市町村教育委員会

教員の勤務時間

	平日	土日	1週間当たり	平日の休憩時間
小学校	11時間23分	1時間12分	59時間19分	1日5分
中学校	11時間33分	3時間7分	63時間59分	1日7分
高校	10時間36分	3時間	59時間	1日24分

(出展：文部科学省「全国教員勤務実態調査」2022年実施より)

協議会や校長会などを通して要望してきました。今後も、教職員の一層の負担軽減を図ることができるよう、継続して要望してまいります。

また、教職員の多忙化の解消を図るため、山形県の事業として、教員業務支援員配置事業を実施しています。主な仕事は、学習プリントの印刷や授業準備の補助、データの入力などであり、今年度は市内の小中義務教育学校6校に配置され、教員業務のサポートに従事しています。

県においては、来年度はスタッフを配置する学校の拡大に向けた検討をしているようであるため、今後も、この事業を活用しながら教職員の負担軽減を図ります。

◎学校のトイレの全洋式化と、女子トイレに生理用品の設置が必要ではないか。男子トイレの洋式個室を増やし、気がねなく使えるようにすべきではないか。

教育長 現在、1か所のトイレに最低1台以上の洋式トイレが設置されている状況ですが、今後、さらに施設の構造や使用状況を踏まえ、便器や個室の設置を進めてまいります。

また、生理用品については、児童生徒の必要に応じて、常時、保健室で提供できるようにしています。



高齢者の活躍推進の為に

◎高齢者の相談をワンストップで受け付ける窓口を開設し、就労だけでなくボランティアや生涯学習、健康づくりなどの情報を提供してはどうか。

市長 高齢化社会が進む中で、高齢者の方の社会参加などを促進するために相談体制を整備していくことは、大変重要であると認識しています。現在、高齢者の方が健康づくりなどの活動の場への参加を希望される場合は、市や新庄市地域包括支援センターなどがそれぞれ相談を受け、担当部署に詳しい状況ですが、これらの流れをワンストップで行うことについては、今後、関係機関と検討してまいります。

◎認知症予防の取組みと認知症の方への支援について、また通いの場に指定されている老人福祉センター利用者への今後の対応についてお伺いいたします。

市長 認知症高齢者は、今後も高齢化に伴い増加すると想定されて



たかはし ふみこ 議員

おり、国では「認知症施策推進総合戦略」に基づく施策を推進しています。本市においても、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症予防対策として、通いの場の立ち上げを進めてきました。通いの場合は、市の公共施設や福祉施設での活動が年々増加しており、令和5年11月現在、市内13か所を実施しています。活動内容は、「いきいき100歳体操」や認知症について気軽に話す場として「認知症カフェ」などがあり、新庄市地域包括支援センターの生活支援コーディネーターが中心となり、地域ふれあいサロンと併せて活動場所の拡大や普及に努めています。

このたび、通いの場の1つである新庄市老人福祉センターについて、運営主体である新庄市社会福祉協議会より、閉所の考えがあるとお聞きしています。現在の閉所の時期とともに、老人福祉センターを利用して利用者の受け皿や入居団体の移転先などについて協議を進めています。



新庄市認知症ケアパス

質問動画は
こちらから



政策提言について



おのしゅういち 議員
小野周一

◎主要事業の新工業用地整備は喫緊の課題であり、雇用確保の重要施策であります。多様な雇用機会の創出を図るために、横根山工業団地北側に整備することを提言していますが、市の考えを伺います。

市長 新たな企業進出や既存企業の拡張による一層の産業集積、そしてその集積効果による多様な雇用機会の創出を図るため、新工業用地基本計画に基づき、新たな工業用地を整備していくこととしていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を経て、昨今の社会・経済情勢は、ICT化の急速な進展や新たな産業の創出、物価高騰、深刻な人手不足などの課題が顕在化してきています。

また、本市においては東北農林専

1	新工業用地整備事業
2	新工業用地整備事業
3	新工業用地整備事業
4	新工業用地整備事業
5	新工業用地整備事業
6	新工業用地整備事業
7	新工業用地整備事業
8	新工業用地整備事業
9	新工業用地整備事業
10	新工業用地整備事業
11	新工業用地整備事業
12	新工業用地整備事業
13	新工業用地整備事業
14	新工業用地整備事業
15	新工業用地整備事業
16	新工業用地整備事業
17	新工業用地整備事業
18	新工業用地整備事業
19	新工業用地整備事業
20	新工業用地整備事業
21	新工業用地整備事業
22	新工業用地整備事業
23	新工業用地整備事業
24	新工業用地整備事業
25	新工業用地整備事業
26	新工業用地整備事業
27	新工業用地整備事業
28	新工業用地整備事業
29	新工業用地整備事業
30	新工業用地整備事業
31	新工業用地整備事業
32	新工業用地整備事業
33	新工業用地整備事業
34	新工業用地整備事業
35	新工業用地整備事業
36	新工業用地整備事業
37	新工業用地整備事業
38	新工業用地整備事業
39	新工業用地整備事業
40	新工業用地整備事業
41	新工業用地整備事業
42	新工業用地整備事業
43	新工業用地整備事業
44	新工業用地整備事業
45	新工業用地整備事業
46	新工業用地整備事業
47	新工業用地整備事業
48	新工業用地整備事業
49	新工業用地整備事業
50	新工業用地整備事業

令和5年度
主要事業の概要

門職大学の開学や、東北中央自動道の延伸など、本市の地域経済や産業構造は新たな局面を迎え、地元企業を取り巻く社会・経済環境も大きく変化している状況にあるため、今後の工業用地整備も含め、将来を見据えた企業立地施策を検討していく必要があると考えています。

このため、これまで基本整備計画の策定を行ってききましたが、企業立地施策の検討を踏まえ、工業用地整備の最終的な方向性をお示ししたいと考えています。

◎指定管理者の委託料における人件費の算定方式を見直し、早期に職員的生活を守る賃金を他の職種と均衡の取れた賃金の基準に設定することを提言していますが、市の考えを伺います。

市長 市有施設の指定管理者に対する指定管理料については、「指定管理者制度事務取扱要領」により、統一的な基準を設けて積算を行っています。

現在の指定管理料の基準が他の職種と乖離があることは、市としても課題として認識しています。

このため、指定管理料のうち人件費相当分の基準について、市の会計年度任用職員の同種と同程度の水準になるよう、複数年をかけて段階的に引上げを行うこととし、令和6年度の当初予算においても、引上げ後の基準により、指定管理料の積算を行っています。

令和5年度政務活動費の報告

政務活動費は、市議会議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として交付されるものです。会派別の収支を報告します。

会派など	政務活動費 交付額	支出内容							支出合計	⑧返納額	
		①調査研究費	②研修費	③広報費	④広聴費	⑤資料作成費	⑥資料購入費	⑦その他の経費			
新政・結の会 ^(※) 山科 正仁 小嶋 富弥 小野 周一 高橋富美子 佐藤 卓也 山科 春美 渡部 正七 鈴木 法学 辺見 孝太 鈴木 啓太	1,560,000円	1,237,200円	0円	199,000円	0円	0円	19,800円	104,000円	1,560,000円	0円	
共に創る市民の会 坂本健太郎 田中 功 伊藤 健一	495,000円	0円	303,460円	0円	88,200円	10,450円	0円	33,000円	435,110円	59,890円	
勁草21 八鍬 長一 新田 道尋	330,000円	0円	0円	0円	59,350円	52,335円	0円	22,000円	133,685円	196,315円	
無会派	佐藤 悦子	165,000円	17,690円	40,000円	64,432円	0円	0円	30,890円	11,000円	164,012円	988円
	亀井 博人	165,000円	0円	94,330円	0円	29,400円	15,750円	14,520円	11,000円	165,000円	0円
	今田 浩徳	165,000円	0円	0円	0円	29,400円	0円	0円	11,000円	40,400円	124,600円
	鈴木 啓太	90,000円	0円	0円	0円	0円	49,500円	2,420円	6,000円	57,920円	32,080円

《政務活動費の交付額について》

「会派の所属議員数×月額15,000円×11か月」で算出した額が、各会派及び会派に属さない議員に交付されています。

《支出内容の各項目について》

①調査研究費：会派が行う市の事務や地方財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費 ②研修費：会派が研究会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会に参加するために必要な経費 ③広報費：会派が行う活動や市政について住民に報告するために必要な経費 ④広聴費：会派が行う活動及び市政について住民に報告するために必要な経費 ⑤資料作成費：会派が行う活動のために必要な資料の作成に必要な経費 ⑥資料購入費：会派が行う活動のために必要な図書、資料等の購入に必要な経費 ⑦その他の経費：上記以外の経費で会派が行う調査研究活動に必要な経費 ⑧返納額：政務活動費に残額が発生したため市に返納する額。

※令和5年11月1日付で鈴木啓太議員が会派に入会。

審議された議案

議員の賛否

請願の結果

人事案件

予算特別委員会

一般質問

政務活動費

議会報告会のお知らせ

議員研修報告

5年ぶり、議会報告会を開催します

～市民とともに歩む議会、開かれた議会～

市民とともに歩む議会、開かれた議会の実現を目指す「新庄市議会基本条例」の実現に向け議会報告会を5年ぶりに開催します。市内6会場で開催します。都合の良い会場へお越しください。多くの皆様の参加をお待ちしています。

開催日	会場	担当議員	
5月28日(火)	わくわく新庄	A 班	佐藤 悦子、小嶋 富弥、亀井 博人、山科 正仁、坂本健太郎、辺見 孝太
	萩野地区公民館	B 班	新田 道尋、渡部 正七、田中 功、高橋富美子、鈴木 啓太、佐藤 卓也
5月29日(水)	市民プラザ	A 班	佐藤 悦子、小嶋 富弥、亀井 博人、山科 正仁、坂本健太郎、辺見 孝太
	八向地区公民館	B 班	新田 道尋、渡部 正七、田中 功、高橋富美子、鈴木 啓太、佐藤 卓也
	升形公民館	C 班	小野 周一、鈴木 法学、今田 浩徳、八鍬 長一、山科 春美、伊藤 健一
5月31日(金)	雪の里情報館	C 班	小野 周一、鈴木 法学、今田 浩徳、八鍬 長一、山科 春美、伊藤 健一

時間 いずれも午後6時30分～8時(6時開場)

東北農林専門職大学を視察

市議会議員研修会として4月開学の東北農林専門職大学を視察しました。学びの場となる教育・研究棟は4階建てで付属校の農林大学校も入り、講義室や実験室、事務室などが配置されます。交流棟は一般の人も利用可能な学食や図書館が入ります。

床や壁など内装には県産材がふんだんに使用され農林業の学びにふさわしい仕様です。特に大講義室と食堂には東京五輪・パラリンピックの選手村で使用された杉材を有効に再活用しているそうです。

全国から毎年40名の大学生が入学し、ここで学び過ごします。私たちも学生たちを温かく見守り応援したいと思います。

視察日：2月13日(火)
場 所：東北農林専門職大学



新庄市議会議員研修会

新庄市議会議員研修会を開催し、青森大学社会学部の佐藤淳教授による「議会基本条例の原点に立ち戻ろう」というテーマで研修を行いました。

本研修では「議会改革」について話し合いました。各議員それぞれが思い描く「議会改革」のイメージは異なっておりましたが、佐藤教授によると議会基本条例に対して足りない部分を改善することこそが「議会改革」であるとのことでした。その中でも議会からの「政策サイクル」について詳細な解説があり、政策提言の重要性について講義いただきました。

各議員それぞれがこれまでの議会活動を振り返り、議会として改善すべき点など課題について「SOUNDカード」を使いワークショップ形式で意見を出し合いました。

今回の研修で学んだことを活かし、より良い新庄市議会となるよう議員1人1人が意識を高めていきたいと思えます。

開催日：3月19日(火)
場 所：市役所301・302会議室



市民の声

地域で活躍する皆さまの声を紹介します。

農薬や肥料を使わない自然栽培で 世界一おいしいお米を育てる



米の匠みのりガーデン しげお 五十嵐成生 さん

私は山形大学教育学部を卒業後、塾講師をしていましたが、妻の実家への婿入りを機に就農し、江戸時代から続く米農家の8代目となりました。

農業は未経験で、仕事は全て義父から教わりました。当初は慣行栽培のみでしたが「幼い我が子にもっと安全なお米を食べさせたい」という思いから、平成22年に独学で自然栽培を学び、僅か10aの圃場から自然栽培のお米づくりを始めました。

農薬や肥料を一切使わないので雑草対策に苦労したり、収量が少なかったりと大変なことも多いですが、食味値(※)が90以上と高く、令和4年、「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」において、コシヒカリで金賞を受賞。同年「世界最高米」原料米に選ばれました。また、「お米日本一コンテスト in しずおか」において、3品種(コシヒカリ・ゆうだい21・つや姫)で最高金賞や金賞を受賞し、身に余る光栄を頂戴いたしました。

現在17haで水稻を作付けし、うち1.2haが自然栽培です。GPS付き田植機やドローンなどを活用し農作業の効率化を図っています。これからは、更に規模を拡大し、有機JAS認定の取得ややまがたGAPの認証、就農体験、グリーンツーリズムにもチャレンジし、新庄の農業に少しでも力になればと思っています。

(※) 米の美味しさを総合的に評価した数値



賞状



除草作業風景

6月定例会会の予定

- 5月23日(木) 請願締切
 - 6月4日(火) 開会
 - 5日(水) 一般質問 **中継あり**
 - 6日(木) 一般質問
 - 7日(金) 一般質問
 - 10日(月) 常任委員会
 - 11日(火) 常任委員会
 - 14日(金) 最終日 **中継あり**
- 開会は10時です ◇ 請願は随時受け付けております。

スマートフォン・タブレットでも
市議会ネット中継が視聴できます!



市議会
インターネット
中継



新庄市議会 中継

検索



議会の傍聴について

どなたでも傍聴できます。受付簿に住所・氏名を記入していただくほかは面倒な手続きはありません。団体の方は事前に議会事務局までご連絡ください。ぜひ、市役所3階議場に足を運んでください!

市議会の様子をインターネット中継しています。市役所の市民課フロア、市民プラザでも視聴できますので、ぜひご活用ください。

※約1週間後に、録画したものがインターネットで視聴できます。



委員長 山科 春美
副委員長 亀井 博人
委員 鈴木 啓太
鈴木 法太
伊藤 孝太
辺見 健一

議会報編集委員の紹介

(記・辺見孝太)

元日の新庄市は積雪が少なく、穏やかに過ごされた方が多かったかと思えますが、能登半島を中心とした地域では大規模な震災に見舞われ、多くの方が今もなお困難な生活を強いられています。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。大規模災害が起こった際は地域防災への関心も高まります。令和6年3月定例会では多くの議員が一般質問で地域防災を取り上げました。防災意識は大災害のあと、時間の経過とともに薄れてしまう傾向があります。災害の少ない新庄市ですが、万一への備えを怠らずに過ごしたいと思います。

あとがき

